

行仙宿の巡回整備と迎春準備

◇実施日 12月19日(日)

小雪

◇参加者

新宮 沖崎吉信、生熊敏男・千万子、児嶋道夫、濱野兼吉、
中前偉、内野井慎搾、大江加予子・徳子、畑林清子
熊野 西克、岩本信行、山川自知
奈良 志岐敬、山本直子、高橋桂太、佐藤優美子
和歌山 瀧本昭太郎
大阪 梶野照雄、青木宏允
兵庫 坂田洋子(青木、坂田は前泊) 21名

週末の天気予報を見ると、寒気が南下して雪の可能性が大である。今年最後の行事であり参加申し込みも多く、冬用タイヤ装着車の確保が絶対に必要となった。中前君の参加申し込みがあったので、私の車とで2台は確保できた。御供品や飾り物などで荷物が多く、最低3台は必要だ。続いて徳子ちゃんからも参加申し込みがあり、タイヤ交換して参加するそうだ。

ヤレヤレ、3台の車が確保できて新宮組10人と熊野の3人に高橋君を加えた14名が乗車可能となった。

午前8時30分、下北山村役場の駐車場に集合する。熊野の西さんはスタッドレスタイヤを装着して来られたので、雪道の運転経験のために登山口まで乗り入れて頂くことにした。



登山口に集合



しめ縄取替



行仙宿に着く

役場を出てR425を10分ほど進むと道路脇に雪が目立つようになってきた。昨日、梶野君と電話でのやり取りで作業の項目や段取りを確認し合った時に青木、坂田の2名が前日に行仙宿に入っていることや、早朝の伯母峰トンネルのライブカメラで路面の積雪確認し、一部の橋梁上は凍結もあるようだ、と聞かされた。今日のR425も俱利伽羅谷に架かる橋あたりから積雪があるだろうとの話通り、路面が真っ白になってきた。

一年ぶりの雪道だ。ワクワク、ドキドキ。ゆっくり慎重に進む。橋から1kmほど進んだ道路脇に一台の車が駐車している。よく見ると青木車ではないか。ここから歩いたようだが、理由が良く判らないまま登山口に到着した。梶野車の3人は先着していて、程なく瀧本、佐藤のお二人も到着して全員が揃った。

本日の作業メニューと段取りを全員に説明する。最近、作業前のミーティングを必ず行うようにしている。これは以前、三井さんから

のアドバイスで「私の仕事は製造業で、現役時代には“安全第一”を念頭に、毎日、危険予知訓練を繰り返し伝えていました。内容を曖昧なままにしておくと、皆の顔つきが違うように、自由勝手な自己流が始まってしまいます。作業内容の理解、作業中に起こるかもしれない危険因子の理解などを作業前に周知することで、かなり防ぐことが出来ると思います。川島、山川両氏の事もあったので、再発防止の観点から、作業前に“気を付けよう”だけではなく“危険予知”をしてから始めるべきです」と。

まだまだ十分ではないが都度々充実の必要がある。今回、メニューの一つであったモノレール脇の間伐材の整理や回収を、積雪のために中止としたことは正解だろう。

補給路の途中、水場のしめ縄を交換、川島さんの追悼碑は児嶋さんが作ってくれた木製のものに取り換えた。



お堂の大掃除



床を掃除機で



水場のしめ縄

モノレール終点からは、迎春用品や御供のほかリングゴ木箱とコンク

リートブロック2個を手分けして荷揚げした。

モノレール終点上の浦向道分岐あたりから雪が深くなり、ゴム長の足先が冷たいのなんの。10時頃から順次行仙宿に到着、坂田さんがお堂の横で皆を出迎えてくれた。

早速荷揚げした荷物の仕分けや作業分担を行うが、青木、坂田の両氏から窓拭き、トイレ掃除、小屋内の箒がけは行ったとの話があった。



チェーンを取り付け



昼食



本日の参加者

モノレール傍の間伐材整理を中止したので、午後に予定していた水場の整備は午前中に行った。水場ではしめ縄の取替と長年の懸案であった転落防止策を講じる予定だ。水場に数人が向かった後、小屋内にしめ縄が残されていた。青木、坂田のお二人が後を追って届けてくれたが、何時に何人が降りたのかも判らず、確認も無かったようだ。今後は声掛けが必要だ。

迎春準備は各小屋の整理、清掃、御供の取替と迎春用品の設置が

主な目的で、今回は21名の参加と大人数なので、作業の割り当てやお願いが十分に行き渡らなかつたと、うれしい悲鳴である。

11時半過ぎに水場班が戻り昼食とした。

今日は午後から天気回復の予報で、青空が見えてくるかと思っていたがそう甘くは無かつた。風雪が徐々に強くなり午後の作業は無理なようだ。持ち帰る不用品などの選別を行って作業を終えた。



ソーラーパネルの除雪

お堂で勤行

梶野君の姿が見えないと思っていたら、一人で屋根に上がってソーラーパネルの除雪を行っていた。そういえば小屋のLED照明が突然消えてしまった。2時間たつたのかと思っていたがそうではなく、ソーラーパネルの積雪でバッテリーに充電できなくなっていたらしい。冬季は行仙宿に限らず、ソーラーパネルの除雪が必要なようだ。

外は寒いので小屋内で集合写真を撮って、行者堂で勤行。中前君導師で山川さんのご冥福と来年の作業安全を祈念し、大峯75麿

勤行をあげて頂き、今年の行事を終えた。

風も強く、頭や肩に雪が積もる中を下山した。



雪の中を下山

無事下山

千日刈峰行が昭和59年にスタートして、37年間を要して本年1月に2000回目の行事を迎えた。玉岡さんや諸先輩方の大変なご苦労に思いを馳せると共に、当時のご苦労や思いを風化させることがないようにしたい。本日参加して下さった皆さんに、千日刈峰行の第一回目と第二回目のレポートと「千日刈峰行とその展開」をコピーしてお渡しした。

皆さん良いお年をお迎えください。本年もご協力ありがとうございます。
(記：沖崎)

行動タイム

補給路登山口 09:10→10:15 行仙宿 13:40→14:20 補給路登山口